

経済教育学会

2023 年春季研究集会 自由論題発表要旨

2023 年 3 月 3 日 (土) 13:30～

城西国際大学東京紀尾井町キャンパス 1 号棟 1301 教室

* プログラムは学会ウェブサイトをご覧ください。

日本財政の実態把握に必要な金融経済教育に関する考察

武村 和正 北陸大学 経済経営学部

21 世紀に入ってから、経済・財政分野の多くの研究者やマスメディアなどが日本の財政破綻危機を繰り返し説いてきた。一方で金融市場参加者の間では、日本政府のデフォルト・リスクは主要先進国とほぼ同レベルで「懸念なし」とみられ続けている。コロナ禍で財政状況は悪化したと考えられているものの、現実問題として破綻危機という状況は生じていない。今回の発表では、破綻危機として挙げられてきた主要な材料に言及しながら、それらに対する見方について、会計やファイナンス領域の基本知識・理論を用いて検証する。また、国際通貨基金 (IMF) などが指摘している公的部門バランスシートの考え方や、中央銀行保有の国債にかかる実際の財政負担などについて議論する。そのうえで、これまで展開されてきた「財政破綻論」の誤解を解きながら、財政実態の把握に有益となる金融経済教育について提言する。

リカード・モデルの練習をマークシートでさせる際の整数問題の活用

小川 健 専修大学 経済学部

リカード・モデルは貿易を教える上での基本の 1 つであり、名前は別にして高校の政治・経済で教えられてきた項目の 1 つでもあり、公務員試験のミクロ経済学の分野などでも扱われてきた項目であるだけでなく、大学の国際経済の科目でもほぼ必ず教える項目であるので、練習問題自体は既に作り尽くされた感が強い。一方で、マークシートで出題する際は比較優位の比較部分は分数等で考えるにせよ、数値を綺麗に作らないと従来は生産量等にも 1 単位に満たない端数が出てきてしまい、人数が足りず完成品を作れない事案を容認する事態になっていた。そこで本報告では整数問題と余りのある割り算などを活用し、完成していないものの価値を下げる等して、マークシートで直接答えを書き易い問題を考案した。これに財の「組」をバラより欲する辞書式選好を入れることで、貿易利益について世界全体だけでなくより各国に即した体感がし易い練習問題となった。